

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 11月分 各業界からのコメント

◎建設業

- ・コロナウイルスの影響がまだ続いており、昨年度以上に厳しい年度になる可能性がある。
- ・業界全体の商状が悪化しており、新規設備投資等の情報が激減している。
- ・新規物件開拓的営業から、提案型営業に方針を変更し現在活動している。
- ・昨年はどん底だった受注に、ようやく明るい兆しが見える。新潟市内のマンション建築や駅前開発など、この先も期待できる要素が出てきている。
- ・オリンピック需要が収束し、コロナ禍による官庁・民間投資への予算、建設計画等の影響により、発注量が減少しており競争が激しくなっている。
- ・コロナ禍においては引き続き感染防止を徹底しており、年末イベント開催等の緩和は行政の動向を静観している。
- ・警報解除に伴うイベント関係が増えると良い。
- ・石油製品等の値上がりが怖い。
- ・今後仕入単価は上昇見込み。鉄材は10~40%、平均で20%程度。アルミ材は年明け以降、上げ幅は鉄材と同程度の見込み。
- ・新型コロナウイルスも沈静化し、緊急事態宣言も解除されて人流も増えてきて経済活動も活発化に向け進んでいる。
- ・営業拠点の広域化を続けている。関東方面での需要が多くあり、人員のシフト化を行ってきた。
- ・人員不足で求人募集をかけているが応募が少ない。ハローワークだけでなく有料求人媒体や人材紹介などを使い募集をはじめている。

◎製造業

- ・仕入・外注先の小規模企業の廃業意向やM&Aの話が以前より増えてきたように思える。仕入先の確保に留意する必要がある。
- ・コロナ収束の気配のためか、宿泊関係以外の各業界の改装などの動きが見受けられる。
- ・食品機器関係で新たに受注が決まった。半導体関係の設備も外資系などであるが、動きが出てきた。
- ・全体的に動きはあるが、材料費の高騰はかなり響いている。
- ・材料費の高騰がいつまで続くのか懸念される。
- ・新政権に期待したいが、最低賃金が引き上げられることで、事業主としては難しいところである。
- ・ようやく世の中が動き始めたような感じを受けている。

◎卸売業

- ・本社のシステムダウンの影響で、今月から数字が下落する予定。
- ・コロナ禍でのサービス業の不振による賃貸収入減少や公共事業の予算削減による影響がある。
- ・引合「山場」を越える。
- ・政府の緊急事態宣言も解除され、人の活動も活発となり、それに伴う飲食需要の拡大が期待される。
- ・コロナ後で景気は回復していくだろう。
- ・各種イベントも戻ってきて業界の動きも活発化すると思う。

- ・価格については、すでにメーカーによる値上げの発表が出されている（1月から）。顧客に転嫁することは難しいが、実施しなければ当社の利益を圧縮してしまう。

◎小売業

- ・新型コロナウイルス感染者の減少がみられる。
- ・コロナ感染状況が落ち着き、少しずつではあるが売上も上向き傾向となるが、第6波への懸念もあるため消費者の購買行動も慎重である。
- ・次月は、年間最大商戦のため購買客数も売上も増加すると予測。また前年度は年末大雪、1月も大雪があり天候による影響が大きいため、回答は変わらないとしている。
- ・当社では、オンラインストアを開設し、部品販売を強化した。
- ・商品説明として YouTuber を使用した動画を YouTube に載せてみた。まだ、載せたばかりで分からないが、見てくれる頻度に期待している。そこから、オンラインストアに行く仕組みも作った。売上アップに期待している。

◎サービス業

- ・ワクチン接種の影響もあってかコロナは収まっているが第6波の懸念もあり、なかなか積極的な動きが見られない。悪化することはないが、好転の兆しはない。
- ・全国的な緊急事態宣言の解除や警報解除により、人などの動きが出てくると思うが、すぐには状況は変わらないように思う。
- ・感染者数は減ってきているため、地域経済が早く動いてほしい。
- ・業界の特性として、緊急事態宣言解除後の業況回復は、かなり時間がかかる見込み。
- ・宣言解除となっても役所、企業の自粛規制が解除されておらず、また県外客の流動性も限定的なため業績は従前の水準まで回復していない。ただし長い営業縮小の期間があったため、回復した場合に人手不足が予想され、回復にはまだまだ困難が伴うと思われる。
- ・今月の売上は増加していても来月、その翌月と売上の予想ができず、悪くなると考えていた方がよい。
- ・ワクチン接種をして感染状況は落ち着いているようであるが、このままではないような気がしている。
- ・コロナ感染者の減少により、少しずつ人の動きが出てきているように感じる。2年ぶりの古町どんどんもそれなりに人が出ていた。
- ・今年の冬はコロナ感染者がどの程度増加するのか、気になる所である。
- ・現在、当施設の老人ホームでは県外者の面会が緩和し、15分程度ではあるものの、ご家族と面会室での面会が出来るようになった。
- ・その事により、多少ではあるものの人の流れが変わってきていると思う。
- ・県外への訪問が少しではあるが可能になり、期待できそう。
- ・新型コロナウイルスによる影響で、高校2年生はまともに友達と出かけたことが無い。
- ・仮にこのまま回復基調になっても、コロナで身に着いた生活様式が変わるとも思えない。
- ・アルバイトの新潟大学2年生は今年の9月まで校内に入ったことが1回のみ。
- ・今後回復基調に入っても、どんな世の中が形成されていくのか見当がつかない。
- ・コロナウイルス感染症の鎮静化により緊急事態宣言が解除され、徐々に地域経済活動の動きが始められてきたが、原油価格高騰が景気に与える影響を考えると慎重に景気動向を見極めながらコスト調整していく必要がある。

- ・人流抑制策が緩和されたが消費活動は停滞している。昨年は GoToEat の好影響で一昨年より売上増があった。
- ・今年の 11 月は、昨年より減少している。GoToEat 第 3 弾を期待している。
- ・コロナ禍の影響で仕入価格の上昇が顕著になっている。
- ・さらに今後は人件費の上昇、採用コストの上昇が見込まれ、収益の減少が起きるとされる。
- ・選挙終了後、11 月に入ってから前年を上回る兆しが見えてきている。
- ・国内では観光地の人流増加やイベントの復活等がみられ、この傾向は新潟県にも少しずつ広がってくると想像でき、期待が持てる。
- ・これから目指すことは、売上で、前年ではなく一昨年の数字に回復する事。
- ・そして第 6 波を発生させない慎重な行動と対策。
- ・ここに来て懸念されることは原油の高騰。
- ・コロナ感染者が減少傾向にあるが、根底にある感染の危機は完全に拭い去れないことから、コロナ以前のような人出に期待が持てない。
- ・円高が原油をはじめ多方面での物品購入のハードルを上げているために、外圧により採算が取れない状況が続いている。
- ・雇調金が 3 月までとの情報があり、その間に勤務体制などの見直しをしたい。
- ・昨年同月比であっても 100%を割り込んでいる情勢が気になる場所である。
- ・前年は大口の受注があったが、今期は大口が大変少ないため売上が減少している。
- ・ただ、前年より人件費を中心としてコストダウンできているため、業績としてはそこまで大きく悪化していない。
- ・イベントや人の集まりも徐々に増えているため、それに伴った業務がどんどん増加し売上につながって欲しい。
- ・そのためにも、ワクチン接種証明や検査を実施したうえでの会合を行って、安心して外出できるような仕組みが増えていくことを願う。
- ・半導体不足により I T 関連機器の入荷に影響が出ており、システム導入時期の遅れが懸念される。